

議 事 録

公開・ 一部公開 ・非公開	非公開 部 分 理 由	個人情報にかかると部分
	保存期間	30（ ）・10・5・3・1・随
	作成日	令和3年 12月 20日
部長	課長	課長補佐
	係長	係
		記録者所属 企画振興課 企画政策係
		職・氏名 主査 土屋 素樹 印

会議等の名称	令和3年度 第7回市民まちづくり会議	開催日時	令和 3年 12月 20日（月） 午前・ 午後 6時 30分～ 午前・ 午後 8時 00分
		場 所	本館2階全員協議会室
主催者(事務局)	企画振興課	司会者	大塚伸夫企画政策係長
出席者	有賀剛、五十嵐豊峰、大谷真宙、小夫真、倉寫智彦、坂口永一、篠原博文、鈴木絵美、 田中隆、中澤亥三、花岡裕子、水間源、村山弘子 大塚企画政策係長、堀内、土屋（傍聴人あり）		
欠席者	荻原猛、島田直政、竹内直弘、柘植香織、柳橋悠香		

議 題	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <p>(報告事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の脱会について <p>(確認事項/共有事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員長の職務について ・ 市民まちづくり会議の活動に関する委員アンケートの結果について <p>(会議事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の市民まちづくり会議の進め方について <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップの案内 </div> <div style="width: 35%;"> <p>(配布資料)</p> <p>別紙会議資料のとおり</p> </div> </div>
決定事項 (要点を簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ◆今後の会議の進め方について（再度認識の確認） ・ 終了時間の厳守（会議時間を1時間半とし、20時を終了時間とする） ・ 会議の開催日時（月の第3火曜日） ・ 資料の事前配布（事前配布可能な資料）
次回への検討事項	
次回開催	<p>(日時) 令和4年1月18日 18時30分から</p> <p>(場所) 全員協議会室</p>

討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会		
2 報告事項	大塚	委員の市民まちづくり会議脱会の報告 メールでもご報告させていただいておりますが、委員長を務めていただいた委員がご自身の体調、会社のこと家庭のことを踏まえ、委員長及び委員を継続していくことが難しいと本人からご連絡があり、事務局としても引き留める理由もないことから脱会を承認いたしましたので皆さまに改めて報告させていただきます。
3 委員長の職務について	大塚	委員長不在を踏まえ今後の市民まちづくり会議の開催について説明 今年度定めました規約の第7条第2項に「副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。」とあります。先日、副委員長2名と話をさせていただきました。1～3月までの年度が終わるまでは、副委員長2名のうちどちらかを職務代理とし役員体制をこのままとさせていただきます。4月改めて互選により役員を決めさせていただきますと考えておりますが皆さまいかがでしょうか。
	委員	拍手により同意
	大塚	皆さまから頂いたアンケートについて、そのままのお言葉でそれぞれの項目ごとまとめてあります。発言者の名前については、匿名希望の方もありましたので伏せさせていただきます。まずは各個人で10分間ご確認ください。
		(10分間個人ごとアンケート内容確認)
4 市民まちづくり会議の活動に関する委員アンケート結果について	大塚	15分ほど時間を取りますのでアンケート結果について「まちづくり会議のあり方」や次第にも記載をさせていただきます。「今後の進め方」における「会議におけるルールづくり」、「開催日の定例化」、「会議の終了時間の徹底について」なども踏まえ、グループごと話していただき後ほど発表をお願いいたします。
	委員	15分と時間が限れるので周りの方2、3人程度でお話すればよろしいでしょうか
	大塚	「まちづくり」「シティプロモーション」グループがそれぞれ2つに分かれていただきのちほど4つのグループごと発表をお願いします。
		(委員からの希望により15分に5分追加で話し合い)
		各グループの意見発表については別紙のとおり
5 会議事項	大塚	皆さまからいただいた意見を踏まえ今後の市民まちづくり会議の進め方について会議におけるルールづくりということで、市民まちづくり会議の第1回目の会議（令和2年7月29日開催）の際に皆さまのお示しした資料にあります3か条を原則とし引き続き会議を進めてまいりたい。また、開催日の定例化や会議の終了時間について徹底してまいりたいと思います。
		(委員の多数決により、会議の開催については月の第3火曜日に決定)
	委員	追加でお願いしたいのですが、資料についても事前に共有できるものは送付してほしい
	大塚	承知しました
6 その他	堀内	協働のまちづくりのためのワークショップの開催について説明（別紙3）
5 閉会		

「市民まちづくり会議の活動に関する委員アンケート結果」を踏まえての意見

○グループ A

- ・ もっと幅広いメンバーにしたほうが良い（学生、高齢者など）
- ・ 今まで委員に発表していただいているが実績となったものが少ない。
もっと具体的な活動にした方がよい。
- ・ 小さな活動をするのもよいが理想論でなく実践論
- ・ 地域のニーズに合わせる地域づくり
- ・ 地域づくりは小さなことからコツコツ
- ・ 今の状況から地域づくりの目標を決める
- ・ 「住みよい街」を具体化、数値化
- ・ 地域を歩くなどして特徴を知ってもらう
- ・ 地域の特性を他地域との比較でみんなに知ってもらう
- ・ 「どうみ愛」 = 「地域愛」

○グループ B

- ・ みんなそれぞれ思いがあるので何かしら基準を設けていかなければいけない
規約第 2 条に「市民の視点から市が抱える課題を洗い出し課題解決のため」、第 3 条「市民が自主的に運営するものとする」とある。この認識を統一した方がよい
市が抱える課題となると市民まちづくり会議で話ただけでは解決しきれないことが多くなると思う。例えば市の魅力発信において「こんな魅力あるよ」など小さい粒感でいっぱい発信していくことを課題としてとらえ活動していくこともよいのではないか（規約に記されている「課題」と少し異なるかもしれないが）
- ・ 「課題」の認識統一することでやることで方向性が見えてくるのではないか。
- ・ みんなが東御市の魅力に気付いていないことが勿体ない
魅力に気付くために齋藤先生の「環境点検」をするのもよいのではないか
- ・ 小さいグループに分けて話して提案するのもよいのではないか
- ・ グループごとリーダーを決める
- ・ 市民だけでは行動範囲が限られることがある。その場合は行政と連携していくことが大切。課長などにも出席をしていただきたい

○グループ C

- ・自由な意見を言える場であってほしい
- ・市長や議会にも委員の意見が伝わればよい
- ・テーマを絞り込みテーマごとにグループ分けをする
- ・今まで委員に発表していただいたテーマのいくつかを継続的に議論し実現していく
- ・テーマを実現していくためデータの集め方がとても大切

○グループ D

- ・「環境点検」について勉強不足なところもあるので精査してから取り組んでみる
- ・外部の専門家の協力、客観的な視点
- ・学生と一緒に取り組む。若い世代の意見を活かしていく
- ・みんな納得して進めていくことが大切
- ・原点に戻る 市民まちづくり会議の3か条の見直し
- ・最初は統計データ等を用いて議論を行っていたが途中から発表するのみの会議となってしまう
- ・すでに活動している団体の取組を参考にする
- ・地域づくりに関して他地域で行っている活動の情報を取り入れる
- ・統計の数値などを活用し客観的に見ることで各委員が実現したいテーマへのアドバイスやサポートができる